

2019 女学院カフェ

私達は「世代間交流できるコミュニティづくり」を目標に 2015 年度から交流のある岡田山団地集会所にて活動しました。まずは西宮市社会福祉協議会の方に岡田山住宅の状況や周辺地域の環境について教えていただき、岡田山集会所にて行われている社会福祉協議会主催イベントに参加することからはじめました。参加者の方に名前を覚えてもらうこともなかなか大変だというアドバイスをいただいて、授業の合間の時間を使って出来るだけイベントに参加しました。そして継続的な参加者を固定化するだけでなく、新規の参加者が増加するように女学院カフェのイベントを企画・実行しました。

●女学院カフェ ～1回目～●

(日時) 2019年7月27日(土)

(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々

(参加) 19名、社協スタッフ1名

(学生スタッフ) 4名

もっと皆様に私達のことを知っていただき、今後の参加にも繋がるような楽しいイベント作りをしようと1回目の女学院カフェを企画しました。集会所のイベントでは工作のプログラムが大変人気だということを知り、私達も取り入れようと思い、灯籠作りをすることにしました。今回のプログラムはいつもの集会所のイベントより少し開始時間を早め、参加者の皆さんとの昼食タイムを取り入れました。まず玄関でお出迎えし、皆様にもお互いのことを知ってもらうために、名札をご作成いただくことにしました。昼食タイムではおにぎりとお味噌汁を用意し、皆様の趣味や昔話をお聞きました。戦争のお話などもしていただき、そういった体験のない私達にはすごく貴重な時間でした。



次は灯籠作りです！私達が事前に模様をくり抜いた厚紙を組み立ててもら



い、色紙やペンなどを使って自由にデコレーションしていただきました。最後に

中に入れた7色に光るライトを全員で点け、カウントダウンのあと部屋の明かりを消しました。消灯と同時に灯籠の中のライトがすごく綺麗に映し出され、歓声



が上がりました！私達もとても感動しました。この工作プログラムは大変ご好評をいただくことができました。その後は、先輩方も行なってきたお話タイムの時間です。参加者の皆様とお茶の時間を共有しました。意外と私達と同じ趣味を持つ方も多く、皆様との新たな共通点を発見することができました。夏の暑さを忘れる程、有意義な時間を過ごすことができました。

●女学院カフェ ～2回目～●

(日時) 2019年11月2日(土)

(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々

(参加) 27名、社協スタッフ1名

(学生スタッフ) 4名

2回目の女学院カフェでは、季節感も味わってもらおうとハロウィンをモチーフにしたプログラムを企画しました。目に留まりやすいように可愛くデザイン



したチラシを2種類用意し、新規の参加者の方が増えるように広報面でも工夫しました。集会所の横にある公園

で見かけた子ども達にもチラシを配ったりもしました。その結果、前回よりも子どもや親子の参加者が増加しました。今回は4年生の先輩も参加してくださいました。前回のイベント後のアンケート結果で意見が多かった「体を動かしたい」という声を取り入れ、風船バレーを行なうことにしました。

大きな風船を用意し、2チームに分け風船バレーをしました。事前に簡単な準備運動を行い、参加者全員が一度は風船に触ってもらえるように座席の配置なども工夫しました。想像以上に風船が飛んでしまうこともありましたが、小さなお子様から高齢者の方までとても楽しそう



にプレーしてくださり大変賑やかでした！西宮市社会福祉協議会のスタッフの方も、「この集会所で風船バレーができるなんて新しい発見です。」と仰ってくださいました。

前回でも好評だった工作は、今回はパンプキンの形をしたお菓子入れ作りをしました。前回の反省点を踏まえ、全体を見渡しながらか作り方のアドバイスを周って行うように心がけました。今回はあらかじめ工作キットを1人分ずつ用意しておいたので、材料も過不足なくスムーズに進めることができました。個性あふれた思い思いのお菓子入れができました。お茶請けのお菓子もハロウィンということで多めに用意し、作ってもらったお菓子入れに詰めてお持ち帰りいただきました。お話タイムでは、お菓子を食べながらリラックスした様子で過ごしてくださいました。参加してくれた子どもたちからは「次はいつやるの？」「前回初めて参加して、楽しかったから今回も来た！」「また参加したいです」と、とても嬉しい意見をもらうことができました。



ムを取り入れました。知名度が高い歌を選曲し、班のメンバーがキーボードで伴奏しました。工作のプログラムでは、クリスマスリース作りをしました。簡単に作れるもので、出来たリースにはモールなどで自由に飾り付けを行なってもらいました。途中、作り方がわからない方には私達がサポートすることもありましたが、同じテーブルの子ども達と一緒に作る姿も見えました。世代間交流の様子が伺え、とても嬉しかったです。今回も、個性あふれる様々な可愛い作品ができました。



カフェの時間には1人1枚パンケーキを配り、チョコのデコペンを使って好きな絵を描いてもらい、和気あいあいとした時間を過ごしました。最後に、今回参加してくださった方へ感謝の気持ちを込めて、メンバー手作りのクリスマスカードをお渡ししました。皆様は嬉しそうにカードを受け取ってくださいました。途中参加の方もいらっしゃいましたが、最後のイベントは過去最高の参加人数になり、大盛況で締めくくることができました。



●女学院カフェ ～3回目～●

(日時) 2019年12月26日(木)
(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々
(参加) 29名、社協スタッフ1名
(学生スタッフ) 6名

私達の最後の女学院カフェはクリスマスをイメージして企画しました。今回は作成したチラシを岡田山住宅にお住まいの方へ一軒一軒訪問し、お渡ししました。住民の方は「いつも楽しみにしています」とお声をかけてくださいました。今回は更に新規の参加者が増え、親子や就学前のお子さんも来てくれました。1回目は子どもの参加者は2人だったのですが、11人も来てくれました。今まではこんなことはなかったそうです。座席も、世代間交流できるように考えて配置しました。



今回もアンケートの結果で多かった意見を取り入れ、参加者の皆さんと一緒にクリスマスソングを合唱するプログラ

この1年間私達は「世代間交流できるコミュニティづくり」を最大の目標とし、活動を行ってきました。子どもや親子を含む新規の参加者を増やすことができ、子どもと高齢者の方が協力して物事に取り組む様子や、話し合う姿を見て、岡田山集会所を世代間交流できる場所に出来たのではないかと思います。また、私達自身も世代間交流ができました。道でお会いした際には参加者の方が名前を呼んでくださることもあり、私達のことを知っていただくことが出来ました。

班としての活動が終わり寂しく感じますが、今後も積極的に世代間交流をしたいと思います。

最後に、私たちのイベント開催のためにお力添えくださいました西宮市社会福祉協議会と岡田山住宅管理運営委員会、民生委員、ことぶき会の皆様、そして「女学院カフェ」の参加者の皆様本当にありがとうございました！

